

2018年11月

すくすくちーズ

社会福祉法人 悠林舎



秋の深まりとともに、朝晩の温度差も出てまいりました。

運動会や秋祭りなど、行事を終えた安堵感もあり、体調を崩しやすい時期です。

こんな時こそ睡眠&栄養をたっぷり摂り、体調管理を万全にすごしたいですね。

キッズでは、子ども達がここに帰り、日々の疲れを癒やし、リセットしてもらえるような環境を心がけています。

小さなコミュニティの中には、つねに安心と肯定の世界が広がっています。

みんなが自分らしさを発揮でき、一人ひとりの違いを個性として認め合い、信頼し合える、そんな自然で当たり前の積み重ねこそが、子ども達の生きていく力の種。いつかここから巣立った時、その気持ちや経験を忘れることなく、がんばる源（みなもと）となれば…そんな思いです。

2018年、そして平成も残すところあと少しとなりましたが、1日1日を大切に、笑顔の種まきと思い出づくりにはげんでいきたいと思います。

《こっち向いて ちーズ》 ～先月の活動エピソード～

“Let's Party”
♪ハロウィン月間 満喫しました♪



季節のイベントとしてすっかり定番となったハロウィン。手作りマントや帽子を身にまとい、「トリックアトリート」とはずむ声を聴くと、つい大人の目じりもほころびます。こうした四季折々の行事をみんなで体験することには意味があり、こういった行事は、ご家庭、学校、習い事等、さまざまな場所で複数回経験したりもしますが、それぞれの内容やかかわりの違いを楽しむのもまた味わい深いものだと思います。

～以下のねらいで実施しました～

- ・導入から展開まで、見通しを持ちながら一緒に活動を組み立てる
- ・完成手本を見ながら、思い思いの作品（マントや帽子）を作る・創造性をはぐくむ
- ・手指の巧緻性＝こうちせい＝（ハサミ、のり等を使いこなす）
- ・材料を選ぶ、交換する、求める等のかかわりと交渉スキル
- ・友だちやスタッフと一緒に協力し、スタンプラリーをゴールする
- ・約束の合言葉でおかしをゲットする達成感☆



このように、何気ないパーティーの中にも たくさんの目標とねらいが込められています。さらには、その達成度もお子様一人ひとり違う為、それぞれに応じたサポートをおこない、ヒントやかかわり方を考えていきます。



《すくすくコラム ～療育のおはなし～》 トーキングゲームってなあに？



お話をするのが好きな子はたくさんいるけれど、相手の話を上手に“聴く”のって意外とむずかしい。このゲームは、裏返したカードの山を順番に引き、書かれた質問について、引いた人が答えます。「誰かが話している時は、最後まで聞こうね」「引いた人以外は、聞き役にまわろうね」シンプルで学年問わず楽しめるルールを通して、会話のマナーが自然と身につくと同時に、話すこと、聞くことに対する関心が芽生え、そこから人とコミュニケーションを図る事への興味関心→社会性の向上につながっていきます。また、文字化（印字）された質問は、話し言葉のように消えない為、安心して答えられるのです。

勝ち負けがなく、みんなが傾聴し合える（＝存在の受容と承認）こんなハッピータイムを共有し合います♪
※キッズでは、療育グッズ専門店ドコロが作成したカードを使用しています※

11月 イベント予定



キッズベース SEEDS

月	火	水	木	金
			1	2
おでかけには最高の季節です♪ 自然の中を散歩しながら、落ち葉や木の実、まつぼっくりをひろいながら秋を見つけこ。感性豊かなキッズ目線で、素敵な宝物を発見しちゃいます☆			秋の散歩 落ち葉ひろい	発育相談（午前） すくすくひろば 秋の散歩
5	6	7	8	9
☆持ち物 わくわくキッチン あまくてほくほく スイーツぽと	プログラミング 畑で収穫した鳴門金時を使うから まさに地産地消。つくる楽しみ、食卓を			発育相談（午前） すくすくひろば わくわくキッチン
12	13	14	15	16
☆持ち物 落ち葉のしおり & 葉脈なぞり	※作品例			発育相談（午前） すくすくひろば フラワーアレンジメント
19	20	21	22	23
芸術は爆発だ！ フラワーアレンジメント	らららミュージック ミュージックケアと 音楽活動♪	プログラミング	フラワーアレンジメント	勤労感謝の日 休
26	27	28	29	30
ソーシャルスキル トレーニング 『トーキングゲーム D E おはなしタイム』 相手の話を聞く 時のマナーについて まなぼう	※トーキングゲーム については左記 にてくわしく記載	らららミュージック	HPはこちらから	

《いいところを見つけこ♥》 理想は “否定のない肯定だけの世界”

自分を認める、自分を好きになる、ありのままの自分に自信が持てる為に、『セルフエスティーム＝自己肯定感（を高める）』が大切といわれます。

これは、社会で自立して生きる為に獲得したい重要なスキル。キッズでは、それぞれが安心してすごせる第一歩として、

“お互いの違いを知り” “その違いを認め合う”ことを、日々のなかで意識しながら取り組んでいます。

例えば、活動ごとの“ふりかえり”の時間。まずスタッフが「○君のよかったところ」をみんなの前で発表し、

全員と一緒に聴く。次に「自分ができたと思うところ」「がんばったところ」を一人ずつ発表する。その時自信がない子は、浮かばなかったりモジモジしたり。その気持ちに寄り添いながら、プラスの言葉へと変換します。

そうして、次第に褒めて認める温かい空間が生まれていき、否定のない世界に包まれていくのです。

クイズ形式で「見つけこ」すると、宝さがしのようにお友だちのいいところ見つけが始まることも♡

T E A C C H（ティーチ）を日本に紹介した児童精神科医の故・佐々木正美先生はおっしゃいました。

『根拠のない自信こそ、生きていく最大の力。幼少期から家庭や身近な環境でそれを育んだ子は心がたくましく折れにくい』と。

そんな子達があふれる世界って本当ポジティブで最高にしあわせ。これからほめてほめて“ほめまくり合い（愛）”しちゃうキッズです♪

※T E A C C Hとは…アメリカノースカロライナ州発祥で、特性のある方と家族の為の生活全般における包括的プログラム。自治体全体で理解・共生・溶け込む文化を取り入れており、時間・空間等を視覚化した『構造化』に代表されるものです。

